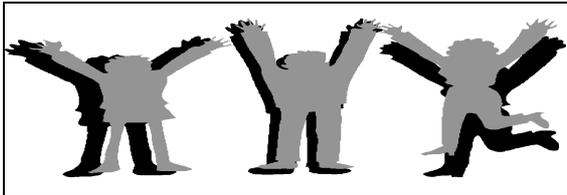


# AA日本ニューズレター

NPO法人AA日本ゼネラルサービス (JSO)

No.140

## AA日本 35 周年記念集会 (愛知県名古屋市)



### 「伝えよう 喜びと希望のメッセージ」

今月3月12日(金)、13日(土)、14日(日)の3日間、愛知県名古屋市内『中京大学文化市民会館』をメイン会場にして、『AA日本35周年記念集会』が開催されます。約3年前に実行委員会が発足し、毎回実行委員会を開催する際、全員で『カンファレンス・コンベンション』ガイドラインを輪読し、会議を重ねてまいりました。

当初は予算・規模・可能性を問わずに、各実行委員から『何をやってみたいか』というアイデアフラッシュ(妄想と呼んでいた…笑)を募りました。さまざまな意見を出し合いながら、実行委員長、各部会と担当が決定し、会場・日程・テーマ・予算概算・ポスターデザインの公募等決定し、広報計画が進んでまいりました。

こういった流れの中私は広報担当の一員として実行委員会に参加致しました。2009年1月よりポスター・パンフレットの国内全ループと各セントラルオフィスへの発送をJSOからお願いいたしました。

その後2009年は、広報部会メンバーのみならず実行委員長・他の部会メンバー・実行委員会以外の中部北陸地域のAAメンバーによる、PRと参加チケットの前売活動が始まりました。

他地域のRU・OSM、等に参加し、評議員の方々や各会場のイベント実行委員会のご理解・ご協力も頂き、35周年のPR及びチケット販売をさせていただきました。また時には地域委員会や地域集会で、PRやチケット販売等のご協力をお願いさせていただきました。同様にJSO及び各セントラルオフィスの職員の方々にもご協力いただきました。

広報を担当させていただいた私にとっては、まさにこの『AA日本35周年記念集会』のPR及びチケット販売は広報部会だけでなく、また35周年実行委員会のメンバーだけでなく、全国のAAメンバーのみなさまが、この『AA日本35周年記念集会』を盛り上げよう！成功させよう！というお力の賜と、改めて一体性を感じさせていただきました。開催当日まで、名古屋にお出掛けの直前まで、お一人でも多くのメンバーにお声を掛けあって下さい。

実行委員会事務局・企画部会からの報告によると、米

国をはじめ、諸外国からの団体参加も決定されていると聞いておりますし、国内オールドタイマーの参加もあり、AA日本の35周年ならではの『分ち合い』が期待出来ます。

テーマにあります通り、あなたの持っている『喜びと希望のメッセージ』を伝えるために、また仲間の持っている『喜びと希望のメッセージ』を受け取りに、是非今月の3月12日(金)、13日(土)、14日(日)は名古屋にお出掛け下さい。

各部会・各担当は、当日参加者全員が『喜びと希望』が分かち合えるよう、直前まで打ち合わせを行っていくことと思います。

**参加券は開催当日にご都合が付いたメンバーの皆様も購入いただけます！**

会場受付にてお申し込みください。

### 新A類(ノンアルコールク)常任理事就任

常任理事就任にあたって

A類(ノンアルコールク)常任理事 藤岡淳子

みなさん、こんにちは。この度A類常任理事に就任しました藤岡と申します。「突然(?)」AAの常任理事への就任のお話をいただいた時には正直言って少しびっくりしました。というのは、私は、あまりAAに関わったことがなく、個人的にAAメンバーの知り合いがいること、1度会合に出席させていただいたこと、1度AAメンバーにいらしていただいて大学で講義していただいたこと、そして2008年の11月に島根県浜田市で開催されたAAフォーラムで話をさせていただいたというのが、AAとの関わりのすべてでした。

どのくらいお役にたてるかわからないとはいうものの、せつかくの機会なのでやらせていただこうかと思った際には、当事者グループということにはとても関心があり、かつすばらしいことだという気持ちと考えがあったからです。何回か常任理事会等に出席させていただいて、またさまざまな資料等を読ませていただいて、その気持ちはますます強くなっています。

少し自己紹介をさせていただきます。私は、現在は、大阪大学大学院人間科学研究科で教育心理学を教えています。かたわら社会福祉士の資格をとりたいと思って、通信教育で社会福祉の勉強をしています。8年ほど前まで、法務省矯正局で心理や教育、行政の仕事をしていま

した。その中で、覚せい剤乱用者の薬物乱用行動や、依存症の枠組みで理解可能な性犯罪者の性暴力行動を変化させるための個別面接やグループワークを実施していたことから自助グループに関心を持ちました。アルコール乱用と犯罪行動は実はけっこう深い関わりがあるのですが、アルコール使用はそれ自体では法律違反ではないので、直接関わりを持つことはありませんでした。ただ、グループの力というのは非常に大きく専門家ではできないことをグループは可能にしてくれるという感触を当時から強くもっていました。

AAと12ステップに、より興味を持つようになったのは、ここ3・4年のことです。きっかけは、浜田のフォーラムでも話をさせていただいたように、島根あさひ社会復帰促進センターという官民協働刑務所の教育プログラムのアドバイザーとして活動する際に学び始めたことです。治療共同体というのは、薬物乱用者と犯罪者の再発・再犯率の低下にめざましい成果をあげている、主としてアメリカで行われている方法なのですが、その歴史的展開の基礎がAAにあるのです。すなわちAAで回復したアルコール依存症者のチャック・ディードリックという人が始めた「シナノン」というグループが現在のアメリカの治療共同体の基礎になっています。AAとは当事者同士がミーティングで話し合うことによってともに回復していくという基本は同じですが、共同生活をする、12ステップは直接は用いない事、言いっ放し・聞きっぱなしのミーティングではなく、エクステンジと呼ばれる激しいやり取りがあること等が異なっています。

AAには長い歴史と伝統があります。「絵で見る12の伝統」や「絵で見るワールドサービスのための12の概念」は、島根あさひの治療共同体を運営していく上でも知恵の宝庫です。法務省や旧帝国大学という階層と序列の厳しい社会で仕事をしてきた身としては、一人一人の異なる視点や意見が生かされ、全体が活力を持つというAAのやり方は、とてもよいと感じています。「アルコール依存症の〇〇です」、「はい、〇〇」なんていって、言いたいことを言い、周囲はそれをきちんと聞き、尊重するなんて、今の世の中全体に見習ってほしいくらいです。問題と人間とを分けて、問題を外に置いて、みなで見るということが適切な対処へとつながっていくのだと思います。もちろん、議論が錯綜し、喧嘩になることもあるでしょうが、話合う過程自体が大切で、喧嘩しないことより、喧嘩して仲良くなることの方が重要だと私は思っています。

AAが当事者だけでかたみならず、非当事者専門家なども入れ込んで、活用してくれることも素晴らしいと思います。みなさんとコミュニケーションをとりながら、仲間の一人として、役割と責任とを果たしていきたいと考えています。どうぞよろしく願いたします。

## 経験の積み重ね

関東甲信越地域広報委員会 矢川

関東甲信越は、地域、地区の広報委員、有志の広報委員15、6名で月1回委員会を開いています。広報委員会は、セントラルオフィス等から広報依頼（モデルミーティング、AA紹介など）の情報を受け、実際に広報活動して戴ける仲間と依頼先の橋渡しをしています。

今年は、約30件以上の広報依頼がありました。1,000名強のノンアルコールリックの方々からAAのメッセージを運ぶことができました。主に依頼先の対象者は、一般市民・学生（中学生～大学生・看護学生）・援助職の方々でした。あと広報依頼の情報の共有するために、広報委員会のメーリングリストに参加してもらい広報の参加できる仲間の呼びかけをしています。

毎年、援助職者向けフォーラムを地区の仲間を中心として開催しています（09年は千葉・茨城地区）。AAの仲間とAAの友人との交流を図ることができればと考えています。今年は49名の友人の参加でした。嬉しいことに、フォーラムに参加して、後に広報依頼を戴いた病院がありました。

仲間向けの広報としては、毎年仲間向けワークショップ開催しています（09年は埼玉西地区）。今年のワークショップでは、31名の仲間の参加でした。内容は、仲間の広報の体験談、パネルディスカッション、分科会を行いました。また、今年は春・秋のラウンドアップでのメッセージ委員会と共催で「メッセージ・広報の分かち合い」を行いました。

あと、実際、どのようにどのような所に広報を行っているのか、広報活動の情報の収集をするために、フォーマットを作成しているところです。先だってパイロット版で仲間に協力をさせていただき、いまフォーマットの改良をしています。

特別委員会として、セントラルオフィス・CO運営委員会・広報委員会でマスメディア向け広報フォーラム開催準備委員会も月1回開いています。現在もどのようにマスメディアにメッセージを運んでいくか話し合われています。

以上のことを広報委員が各受け持ちを持って活動しています。

課題としましては、これからマスメディアを含め、広報先を広げるためにどのような準備が必要なのか、どのような行動をすれば良いのかを考えていく上で、多くの仲間との経験の分かち合いが大切になると思います。

私自身が広報委員会に参加させていただいて、最初は戸惑うことばかりでした。一番痛感したのは、AAのことをよく知らないということでした。広報依頼先にAAの資料を送るのにも、どんな資料が良いのかわかりませんでした。それからAAの広報に関係ありそうな書籍・資料を読み出しました。実際にモデルミーティング等に参加をさせていただきました。初めは自分の経験を話すことで精一杯でした。

最近では、仲間の広報経験の述べ伝えとたくさんの仲間の力を借りて少し落ち着いて話ができるのですが、やはりどのようにAAのことを理解していただけるのか、AAでどのように回復をしていったのかを一般の方に説明をするのは、広報を経験すればするほど難しいと感じています。しかし、私たちの話を真剣に聴いて戴けるたくさんの方々がおられることは、広報活動を進めていく上での励みと喜びになりますし、感謝です。

広報委員会では、たくさんの仲間の経験の積み重ねで、広報が出来ていると感じています。また、これからも仲間の経験の積み重ねでもっとたくさんの一般の方々にAAを知っていただき、苦しんでいる仲間メッセージが届くと信じています。

## 二年間の東北地域集会を通じて

前東北地域議長 浅田

サービスに関わり始めて7年くらいになりますが、ここ数年は東北の諸集会・イベント開催が少なくなり、集まりはいつも同じ顔ぶれで全体的に新しいメンバーとの出会いも少なかったように思えます。理由としては地域集会の開催がなかったことや、広報委員会をするメンバーがいなかったことなど思い当たる理由がいくつかありました。

東北地域の棚卸しの中でも明らかですが、スポンサーシップなど個人対個人の関係性、グループとグループの関係性の希薄さから、分からないことを気軽に聞けるつながりが薄くなっていることを感じていました。

任期中の地域委員会メンバーと一致して作ろうとしてきたことは、「やる気のあるメンバーをサポートする場とするとともに、サービスの楽しさを分かち合う集会にしよう」でした。

委員会、集会を含め「今苦しんでいるアルコールリックの手助けをする」ところで一致し、グループでは解決できない問題をざっくばらんに語り合い、その後は問題解決に向け経験者の体験が語られました。熱くなったあとの休憩や笑いも、そこに集まったメンバーと過ごした良い時間でした。わたしは集まったメンバーの間に神の愛を感じました。

経験者がサービスに関わり始めたばかりのメンバーや、オプザーバーをととても大事にし、見守る姿勢を持ち、近くのイベントに少しの時間でも顔を出す姿は、惹きつけるものがあつたと思います。

新しいメンバーはAAの活動に興味を持ち始め、各委員会活動の集まりにも気軽に顔を出してくれるようになってきたと、ロングソーパーのメンバー達は、とても喜んでいました。

経験者と新しいやる気のあるメンバーの出会いの場は、集会にとどまらずイベントでも変化が見られるようになりました。まずイベント開催をしたいと考えるメンバーが増え始めていること。イベントも全国的にメンバーが集える規模が再び企画されるようになってきました。そして、そこに参加したいと思う人たちも徐々に増えてきています。ある方が「南極船が閉じ込められた氷河を割って前に進み始めた」という例えを使ってわたしにその喜びを伝えてくれました。わたしも、そう思います。この二年間は、一人では何もできないこと、そして同時に今わたしに見えない一人ひとりがAAを支えてくれていることを、大事な役割を通じて実感した貴重な時間でした。

東北地域集会は、わたしたちの地域の良心の集まる場所ですが、残念ながら、まだ今期の地域議長が選出されていません。楽観的に安心できる状況ではなく早急に議長の選出が望まれています。

この状況は、この問題についていろいろな人と共感を持って語り合い、私に何ができるかを真剣に語らうことが、いまどの東北のメンバーにも求められているのかもしれない。



## AAは信頼に足る共同体

2009年AA関東甲信越矯正施設委員  
鈴木 (いなほグループ 丈)

AA関東甲信越矯正施設委員会は6ヶ所の刑務所(府中・横浜・前橋・市原・黒羽・甲府)5ヶ所の更生保護施設(日新協会・静修会足立寮、荒川寮・千葉婦性会・更新会)及び1か所の医療保護病棟(国立精神神経センター)のメッセージ活動へのバックアップをしています。平成21年には、横須賀刑務支所と医療保護病棟である久里浜病院なぎさ棟へのメッセージが新たに開始されました。

平成20年21年と委員会をお手伝いさせていただき、あまり専門的なことは分かりませんが少しご報告をさせていただきます。

ここ数年の動向としては平成18年に施行された「監獄法の改正」(刑事収容施設及び被収容者等の処遇に関する法律)の影響が大きいように感じます。公的施設が酒害・薬害を病気と認め、その離脱指導を開始しはじめたことです。この2年間であった教育担当の看守先生方は、AAプログラムの効果を少しずつ認めてくださり、たいへん熱心に指導して下さっていることを知りました。それは同時に、関東甲信越矯正施設へメッセージを運ぶ“道”を切り開いてくれた先に行くメンバーたちの長い足跡を感じました。

AA関東甲信越矯正施設委員会は年1回、パブリックミーティングを開催しております。刑務所教育担当官様をはじめ、保護観察官、更生保護施設の先生方、医療、行政の関係者様など参加をいただき、AAメンバーと共に分かち合います。様々な地域で様々な分野の先生方のご出席は、過去から現在まで多くのメンバーが時間と労力・費用を惜しみなく使いメッセージを継続してくれた実績であり、AAが信頼にたる共同体である、と認めていただけた証であるように感じられました。

パブリックミーティングは10名前後にて現在構成される委員会メンバーで力を合わせ、経験を出し合い、企画し準備しました。また開催地の地区委員会メンバーにもたいへん尽力をいただき、お陰様で大盛況のうちに会を終えました。飲まない日々をいただき、共に力を合わせ、共にやり遂げることが、とても清々しい経験ができました。多くの仲間のおかげです。

刑務所のメッセージを経験させていただき感じたことは、単なるメッセージとは違うということでした。アルコール病院はその病院のスタッフや入院中の方には、アルコール依存症についての知識の下地が幾分でもあろうかと思いますが、刑務所の中には全くありません。ですから「アルコール依存症が病気であること」、「それは解決の糸口があり、飲まないで生きていけること」といったことからご説明する広報の意味合いが十分にあります。私が今回参加させていただいた刑務所は初犯の方が入る刑務所で、受刑者の皆さんは規律に従い、礼儀正しくAAの説明やアルコール依存症について熱心に聞いて下さっていました。私たちの経験と回復の話聞き、たいへん驚かれておりました。

刑務所へのAAメッセージ活動は、登録制になってい

ます。履歴書・誓約書を関東甲信越セントラルオフィスを通じて登録します。数少ない登録メンバーが確実に先方との約束を履行しなくてはなりません。簡単にメンバー交代ができません。また刑務所ゆえに、遠方に所在する施設がほとんどで、この特殊性は通常のメッセージ活動とは異なり、メンバーに大きな負担にもなります。

AA関東甲信越矯正施設委員会に刑務所から（セントラルオフィスを通じて）謝礼金が送られてくるケースがあり、委員会では困惑しております。刑務所としては酒害教育プログラムの予算の一部であり、社会通念上、協力団体への謝礼とされているようです。AA関東甲信越矯正施設委員会では外部からの金銭はご辞退させていただいている旨を丁寧に強くご説明しております。しかしながら所長など人事交代の機会に、突然振り込まれた…といったこともあり、なかなか難しいです。21年は2ヶ所の刑務所でAAに対する謝礼金を廃止していただくことが決まりました。今後も窓口メンバーを通すなどして、辞退の旨のご説明を継続していくことを、委員会で確認しました。

最近、私が普段通勤で使っている電車の広告に「アルコール依存症」の広告が貼ってあります。市の広報でした。「アルコール依存症は病気である…」「回復する病気です…」とありました。何年か飲まない時間をいただき少し目線も上げられるようになりました。再び働かせていただけるようになり、いくらか視界もひろがったでしょう。人のつながりを最近よく感じます。どんな世界にもAAも社会にも先を歩いてくれる仲間がいて、大事なことを伝えてくれます。それを受け取り、また渡してゆきます。そんなふうに感じます。酒に打ち砕かれ、生きていきたいと思い、思えばAAでそのことを教わりました。

今回、振り返りと原稿を書かせていただく機会をいただけたことに感謝いたします

### 新生HCO（AA北海道セントラルオフィス）紹介

はまなすグループ ユウジ

皆様はじめまして。今年よりHCO（AA北海道セントラルオフィス）運営委員長を務めております、はまなすグループのユウジと申します。既に皆様もご存じの通りHCO（AA北海道セントラルオフィス）は昨年9月に問題が発生し、北海道地域の仲間及び、全国の仲間にご迷惑ご心配をおかけしました。私個人としても当時は運営委員をしており、責任を感じております。

色々ありましたが、ボランティア及び有志の仲間の協力で暫定運営後、現在は新運営委員会も発足し、新形態での運営を始めております。現状の北海道地域に見合った体制を考えていこうという中で予算・人員等の都合上、一部業務形態変更を行いました。主な変更内容は、職員のアルバイト・パート化（三名の職員スタッフ）、営業時間の短縮（午前11時～午後4時まで）等です。

その他に新しい体制をとるにあたり、個人名での契約となっていました、事務所（アパート）の契約形態、電話・IT回線、水道・電気、預貯金の口座名義等を、出来る限り個人負担を軽減して行こうということで、HCO名義に出来るものは変更しました。今後もより良い体制を目指して、皆で協力して進めてまいります。

私自身も今回の緊急事態以来、オフィス（HCO）に行くことが多くなって改めて気付いたことは、12ステップコール、医療・行政関係及び仲間からの問い合わせに接し、HCOは対外的な窓口としてとても大きな役割を担っているのだということです。私がAAに繋がった約5年前から「書籍が欲しかったらHCO、何か聞きたいことがあったらHCOに電話」等々、オフィスがあって当たり前前の感がありましたが、この事態に接しHCO存在の重要性を改めて理解しました。

また自分自身のプログラムとして昨年までの運営委員の2年間とは違い、委員長の立場として多くの仲間との「言いつばなし・聞きつばなし」ではない、会話（案件）のキャッチボールをしなければならなくなり、結構大変だな！と思うことがあります。サービスの場所で今の自分が試されると聞いたことがあります、本当にそうだな！と思うことがあります。

色んな意味で忙しかった昨年末から、新運営委員会が発足しました。運営委員、職員・ボランティアスタッフ及び各役割の仲間の力を借りながらですが、これからも微力ではありますが一生懸命進んで行こうと思っております。新生HCO（AA北海道セントラルオフィス）をよろしく願いいたします。

### HCO(AA北海道セントラルオフィス)

〒063-0804

札幌市西区二十四軒4条5丁目3-3  
キャロム24軒A棟1F・1号

- ・ 営業時間 午前11時～午後4時
- ・ 休日 土曜・日曜祝祭日及び年末年始
- ・ 職員 3名の職員スタッフが交代にて勤務
- ・ 電話番号 011-557-4329
- ・ FAX 011-557-4329(変更なし)
- ・ メールアドレス hcoaa@yahoo.co.jp



編集・発行： NPO 法人 AA 日本ゼネラルサービス (JSO)

〒171-0014 東京都豊島区池袋4-17-10 土屋ビル4F Tel:03-3590-5377 Fax:03-3590-5419

<http://www.aajapan.org> jso-1@fol.hi-ho.ne.jp

(月～金) 10:00～18:00 (土・日・祝) 休